



八雲町をよりよい町に！

「第1回 町長と高校生の意見交換会」を開催しました

2月22日、八雲高校において「第1回 町長と高校生の意見交換会」を開催しました。

この意見交換会は、八雲高校2年生が「総合的な探究の時間」における研究課題として取り組んでいる「八雲町をよりよい町、住みよい町にするには」に関し、岩村町長と意見を交換しあうことで、生徒の学びを深めるとともに、町政に若い世代の意見を反映させるために実施されました。

参加した高校生7名からは、ゴミのポイ捨てをなくすために公園にゴミ箱を設置する提案や、町民が利用する公共施設へのWi-Fi環境整備など、高校生ならではのさまざまな意見が出されました。

町長からも、「取り入れられそうな提案もあり、持ち帰って検討したい。今後もこのような意見交換の場などで、若い皆さんから多くのアイデアを出して欲しい。」と高校生に期待が寄せられました。



八雲町の未来から地域創生を考えるプロジェクト！

上智大学生と八雲町職員によるワークショップが行われました！！

上智大学大学院地球環境学研究科の学生8名が、八雲町を訪れ、自然と経済の両立を目指す取り組みについて研修を行いました。

研修期間は3月4日から7日までの4日間。学生たちは八雲町バイオマス産業都市構想を学び、町民へのインタビューや河川の水質検査など、さまざまな活動に取り組みました。

特に6日には、大学側が用意した「30年後の八雲町のビジョン」をテーマにワークショップが開催され、20代の町職員や地域おこし協力隊、大学院生、計19名が参加し、新幹線開業の影響や一次産業の発展について意見交換が行われ、八雲町の未来について熱心に議論がされました。

